

伴侶を亡くした人々の会



〒601-8441 京都市南区西九条南田町38-8 富田秀信気付

TEL 090-3671-4543 FAX 075-691-9465

《宣伝用・一部仮名》

悲しみをわかちあう

12月20日「喪の旅」記念講演会に38人参加

昨年12月20日（土）午後、京都駅近くの梅小路公園緑の館で「河合真美江さん出版記念講演会」を行いました。元朝日新聞記者の河合真美江さんが朝日新聞に連載された「喪の旅～愛しい人に出会い直す～」が単行本として出版されたことを記念して行ったものです。



今回の出版記念講演会には四つの特徴がありました。

第一 出版が11月予定と言う事でのこの講演会は、著者の河合真美江さん自身初の講演だと言う事。

第二 一昨年11月24日河合さんの取材報道による「腑抜けNo会」含め、5年間の全国各地の「喪の旅」事例が1冊の本になり、半永久的に保存記録された事。

第三 本で紹介された29事例は、大半は個人記録で、伴侶を亡くした人々の「集まり」が出来たのは関東で一つ。そして関西では我々「腑抜けNo会」だけだと言う事。

第四 なので、今回の記念講演会は会員向けだけでなく、「腑抜けNo会」が初めて主催し、京都においてグリーフケア（大切な身近な存在を亡くした人に対するケア）に関心ある一般市民に広く参加を呼びかけたものでした。

河合さんは伴侶を亡くすという同じ体験者が安心して話せる場が必要であり、独りじゃない、今後の生きていく知恵になる、そして時間と共に悲しみの質は変わっても、亡き人とのつながりを持って生きていく。その力を本人が持っている」と強調されました。

講演の後、参加者との交流を行い活発な声が続きました。女性に比べて男性は弱いんじゃないか、亡き伴侶に夢で出会う楽しみなど、体験者ならでの貴重な発言に、会場もホッとした雰囲気になりました。